

JST 理事長 記者説明会

令和2年 12月 16日



科学技術振興機構

トピックス



科学技術振興機構

① 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)
企業主体(返済型)第3回募集【with/post コロナ対応枠】

<募集期間>

2020年12月1日(火)～2021年3月31日(水)正午

プレスリリース: <https://www.jst.go.jp/pr/info/info1472/index.html>

② 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

トライアウト・産学共同(育成型)研究開発提案募集

(コロナ関連研究開発)(予告) <https://www.jst.go.jp/a-step/index.html>

大学発新産業創出プログラム(START)

プロジェクト支援型研究開発提案募集(予告)

(コロナ関連研究開発) <https://www.jst.go.jp/start/>

社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型

(拠点都市環境整備型)提案募集(予告)

(スタートアップ・エコシステム拠点都市と連携した大学等の環境整備)

<https://www.jst.go.jp/start/>

③ 戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)

日本JST-米国NSF 共同研究「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により求められる新たな生活態様に資するデジタルサイエンス」公募開始

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_us_NSF2020.html

④ 新型コロナウイルス感染症最新情報 (経営企画部 エビデンス分析室)

① 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 企業主体(返済型)第3回募集 【with/post コロナ対応枠】

今般、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の影響下、ウイズコロナ・ポストコロナの社会・産業における構造転換の実現に向けた科学技術による社会貢献が期待されています。このような状況から、JST「プランB」の“見つける・清める・護る”技術をはじめとしたwith/postコロナ社会の構築への貢献が期待される技術開発を推進するため、A-STEP企業主体(返済型)第3回募集(12/1～3/31)限定において【with/post コロナ対応枠】を設けて公募を行います。

公募期間： 令和2年12月1日(火) ～ 令和3年3月31日(水)

特徴： with/postコロナ社会の実現に向けて貢献が期待できる技術

- 社会的・経済的なインパクトに繋がることが期待できる技術のうち、特に with/postコロナの社会構築に向けて貢献が期待できる分野(医療分野を除く)
- 技術分野の例としては、JST「プランB」の“見つける・清める・護る”技術のほかポスト5G・通信、遠隔医療・ICT、研究環境の自動化(AI・ロボティクス)、医療現場などのロボット、殺菌・空気清浄、環境計測など

＜公募要領＞https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/files/2020_hensai/2020-a-step-hensai-corona_add_01.pdf

■ 募集説明会の開催について

企業主体(返済型)第3回募集について募集説明会を下記にて行います。

【日時】 2020年12月21日(月)14:00～15:00(開場13:45)

【会場】 Zoomウェビナーによるオンライン開催

※参加無料。定員に達した場合は参加申込を終了いたします。あらかじめご了承ください。

・Zoomウェビナーによるオンライン募集説明会を開催いたします。聴講を希望される方は下記よりお申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_9Z7mYkVwQL-pGpGYhm6q5g

② 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

トライアウト・産学共同(育成型)

研究開発提案募集(コロナ関連研究開発)(予告)

A-STEP「トライアウト」及び「産学共同(育成型)」において、with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発等を対象とした公募を12月下旬に開始する予定です。詳細につきましては、決まり次第、本ホームページでお知らせ致します。

大学発新産業創出プログラム(START)

プロジェクト支援型研究開発提案募集(予告)

STARTプロジェクト支援型において、支援期間が通常より短い、with/postコロナにおける社会変革への寄与が期待される研究開発課題を対象とした公募を12月下旬に開始する予定です。詳細につきましては、決まり次第、本ホームページでお知らせ致します。

SCORE大学推進型(拠点都市環境整備型)提案募集(予告)

SCORE大学推進型において、拠点都市環境整備型という名称で、スタートアップ・エコシステム拠点都市と連携した起業家育成も含めた起業活動に向けた大学等における総合的な環境整備に係る公募を12月下旬に開始する予定です。詳細につきましては、決まり次第、本ホームページでお知らせ致します。

③ 戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)

日本JST-米国NSF 共同研究「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により求められる新たな生活態様に資するデジタルサイエンス」公募開始

JSTでは、米国国立科学財団(NSF)と協力し、日本と米国の研究者間での国際共同研究を支援することとなりました。今回、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により求められる新たな生活態様に資するデジタルサイエンス」に関する共同研究課題を公募いたします。

■ 予算配分機関

日本側：科学技術振興機構(JST:Japan Science and Technology Agency)

米国側：米国国立科学財団(NSF:National Science Foundation)

研究期間： 約3年

採択課題数： 3課題を予定

公募締切日： (本提案書提出締切)

(日本側) 令和3年2月24日(水)19:00 (日本時間)

(米国側) 令和3年2月24日(水)17:00 (米国時間、現地時間)

※米国NSF側はSmart and Connected Communities, NSF 21-535 Eligible award categories: Integrative Research Grants Tracks 2 (SCC-IRG JST) (下記URL) の枠組みで公募を実施します。

https://www.nsf.gov/funding/pgm_summ.jsp?pims_id=505364 Solicitation 21-535

本日の登壇者



松本 和彦

●松本 和彦（大阪大学産業科学研究所 特任教授）

CREST「二次元機能性原子・分子薄膜の創製と利用に資する基盤技術の創出」研究領域、「糖鎖機能化グラフェンを用いた二次元生体モデルプラットフォームの創成」研究者

1976年3月に名古屋工業大学工学部電子工学科を卒業。

1981年3月に東京工業大学大学院工学研究科 博士課程電子物理工学専攻を修了（工学博士）。

1981年4月に電子技術総合研究所電子デバイス部へ入所し化合物半導体電子デバイスの研究に従事。

1988年から2年間スタンフォード大学電気工学科 客員研究員。

1993年7月より電子技術総合研究所微構造エレクトロニクス研究室 室長。

2003年3月に大阪大学 産業科学研究所 教授に就任しナノカーボン デバイスの研究に従事。

2012年4月に大阪大学 産業科学研究所 副所長。

2014年4月に大阪大学 COI 研究推進機構 副機構長 研究統括リーダー。

2018年より特任教授で現在に至る。